



市議会議員
(無所属)

やっぱり浦和が一番 川村 準

2023年
総集号

カンパは郵便振替口座:00170-9-386914 名義:やっぱり浦和が一番
連絡先〒336-0017 南区南浦和1-27-11-107
電話番号090-1404-2151 ✉:junkawamuraawa@yahoo.co.jp



市役所は浦和に残し、埼玉県庁と統合で 跡地に埼玉大学・医学部を

さいたま市役所の今後については、市が進めている浦和から大宮への移転ではなく、埼玉県庁と市役所を統合することで、建設費の縮減や水道光熱費等の縮小を図るべきです。そして、市役所跡地には、埼玉大学・医学部を設置し、健康寿命の延伸(延長)をメインとした教育環境と医療環境の整備に努めるべきです。

清水市長が進める、市役所の浦和から大宮への移転。これには多額の税金がかかる上に、合併時の約束に違反し浦和の伝統文化を損なうため、私は断固反対です。



代わりに、建替への議論が出てきている埼玉県庁と市役所を統合し、合同庁舎にすべきです。合同庁舎であれば、建設費や水道光熱費などが効率化され節約できます。そして、市役所跡地には、埼玉大学の医学部を創設すべきです。

現在、浦和美園に順天堂大学附属病院の計画があるものの、建設が遅れています。それならば、高齢者が生き生きと生活できる「健康寿命」の延伸

所得奪う増税より

経済成長で日本を復活しよう

日本の平均賃金は2015年に韓国に抜かれ、一人当たりGDP(国内総生産)は推計値で2022年に台湾に抜かれています。

私は「増税より経済成長」を合言葉に、日本そして浦和の経済をもう一度、力強くします。そのための方策として、増税で

を軸とした医学部を埼玉大学に創設し、「文教都市」の発展と、埼玉県医療の充実を同時に実現すべきです。

その他にも、小児科医や産婦人科医の充実に向け、埼玉大・医学部を最大限活かすべきです。

農学部で有機農業の発展を

人口が最も多い南区には、「コミュ

ニティバスで新設の埼玉大学・医学部と接続し、南区の高齢者から子どもや妊婦まで大病院に行きやすくすることで、住みやすい南区を実現すべきです。

また、埼玉大学は付属小学校と中学校があるものの、付属高校がありません。埼玉大付属高校の創設で「文教都市・浦和」の伝統を、これまで以上に発展すべきです。

加えて、従来から日本の食料自給率の低さは問題視されるものの、改善には至っていません。今後は、食料自給率の向上はもちろん、有機農業の発展が欠かせません。

埼玉大学・農学部の創設により、さいたま市から有機農業の発展を促すべきです。

市民の所得を減らすのでなく、減税で市民の所得を増やし、増えた所得が消費に回り、景気回復そして経済成長につながります。

これまでも、例えば2022年12月議会では、議員や市長、市の職員等の給与を上げる為に、8億円が必要になりました。

私は、その8億円で政治家や公務員の待遇改善ではなく、子育て政策の充実を主張し議会で唯一、給与引き上げに反対しました。その他にも、消費税、国民健康保険や介護保険、雇用保険、給食費の相次ぐ値上げ等に反対しました。

日本の国内総生産(GDP)の6割は「消費」です。市民の所得が増えない中で値上げは「消費」を冷や込ませ、経済成長の阻害要因でしかありません。

川村準は、市長から支給される政務活動費(年間408万円)を受け取らずに活動しています。

既成政党と全面対決

議員特権の解消に全力投球

私のこれまでの議会活動について一部を「紹介」します。私のホームページに過去のレポートがありますので、こちらもご覧ください。

政治とカルトに鋭くメス

2022年7月に起きた安倍晋三・元首相の銃撃事件以来、政治とカルトの関係が問題になっています。

政治とカルトの問題を国会で議論するよう求める請願の紹介議員になった他、市議会議員2人が旧・統一教会に定価以上の値段で機関誌を政務活動費で購入していた疑惑について住民監査請求を行い、差額を返還させました。

議員年金の復活を阻止

議員の特別な年金「議員年金」は2011年に廃止されたものの、復活の動きがたびたびあります。

2016年、自民、民進(当時)、公明は「地方議会議員の政府管掌年金制度への加入に向けた法整備を求める意見書」を提出しました。

私は、この意見書を厳しく追及し、2021年には「議員年金の復活を断念し、過去の議員年金の支給停止を国に求める意見書請願」の紹介議員になりました。その後、議員年金復活の動きは下火になっています。

不正疑惑で議員を刑事告発

年間408万円の政務活動費の廃止を求める私は8年間、政務活動費を受け取っていません。

しかし、左表のように、本会議

政務活動費の使用額と発言回数 (2015~21年度)			
南区の議員	会派	政務活動費の使用額	発言回数
富田かおり	民主改革	2501万1733円	16回
萩原章弘	自民	2450万9538円	5回
浜口健司	民主改革	2422万7363円	16回
金子昭代	共産	2415万5786円	25回
松下壮一	公明	2262万8553円	6回
土井裕之	民主改革	2258万4333円	20回
野口吉明	自民	2147万3220円	6回
桶本大輔	自民	2080万3493円	3回
川村準	無所属	0円	135回

*金額は会派支給分の人数割と個人支給分の合計。所属会派は21年当時。発言は本会議での討論、質問、質疑、動議、議事進行の合計。金子は、2015~18年度は守谷千津子(共産)との合算。政務活動費の使用額は、2015年10月分から。

「保育の質」が大きく向上

給食の有機化と無償化を

での発言回数は135回と、他の議員と比べ圧倒的に多いです。また、政務活動費の不正使用が疑われた帆足和之・市議も沢田力・

保育専門の監査設置

さいたま市の保育現場では、2011年に南区で、2017年に緑区で幼児の死亡事故が、残念ながら起きました。

待機児童の解消のような「保育の量」だけでなく、「保育の質」の充実が極めて重要です。

2018年には、私立保育園で、

法令に反して100%実施されていなかった実地検査を実現しました。また、さいたま市以外の政令市では、保育専門の監査部門を設けることで「保育の質」の向上を図っています。

県議(当時)を刑事告発したり、その他市議も住民監査請求を行い、政務活動費の一部返還を実現しました。

ます。

私の再三の追及で、市も専門の監査部門の導入に向け検討を進めています。

その他にも、公立保育園で、使用済みオムツが持ち帰りだった対応を、園内で処分するよう2020年度から改革しました。

市が有機祭を協催

有機農業の促進を、さいたま市議会で何度も求めてきました。

私の質問の後、市は2022年11月に「オーガニックフェス」を有機農家と一緒に協催するなど、推進の姿勢に転換しました。

今後も、給食の有機化と無償化を主張していきます。

その他にも、遺伝子組み換え



有機祭 盛り上がる

えやげノム編集食品の表示を義務付ける運動を続けていきます。

医療費は成人まで無償に

さいたま市は中学生まで医療費が無償ですが、18歳まで無償化を求める議会で活動してきました。

2022年9月議会で、自民、立憲等の壁に阻まれました。しかし、今後も実現に向け頑張ります。

浦和ナンバー実現を

自動車の「浦和」ナンバーの実現と、浦和レッズの振興を議会で求めてきました。地元愛の醸成で、浦和の更なる発展へ繋がります。

川村準のプロフィール

- 1987(昭和62)年生まれ35歳。
- 19歳まで浦和で育ち米国オクラホマのノースイースタン州立大で歴史を専攻。
- 業界紙で記者をした後、2015年の市議選で初当選。現在は2期目。
- 好きな人物は戦後日本を築いた池田勇人総理。